

登録者活動チェックリスト

❖ 登録者は、登録者として名簿に登録された日の翌日から起算して5年以内に専門家認定試験を受験・合格し、専門家として登録しない場合、その資格を喪失することになります。有効期間内に専門家に登録できるよう、自身の進捗状況を確認するのにお役立てください。

分類	項目	チェック	備考
実務経験	産業保健活動に従事している期間を確認する。 ○実務経験報告書（様式第1号）の内容を確認する。		○登録者は実践活動（大学及び専門学校等の教育機関での教育実践活動）ではなく実務経験を問うので、実践活動期間は除いた期間を確認する ※教育機関での職員の健康管理活動をしている場合は実務経験期間に含める ※大学院生として在学中の研究は実践活動期間に含めない
継続教育	基礎研修 「基礎研修」の履修状況を確認する。 ○基礎研修の履修証明の書類を確認する。 ○研修単位報告書（様式第2号-1）の内容を確認する。 ○研修内容報告書（様式第2号-2）の内容を確認する。		○基礎研修に受講漏れがある場合は、受講の機会を逃さず計画的に受講する （旧制度からの移行者以外は「基礎研修」の受講が必須。かつ、基礎研修50単位に対する「研修内容報告書」の作成・提出が必須） ※「継続研修」の受講は必須ではないが、受講している場合は「研修内容報告書」にできるだけ記載しておく（自己研鑽の資料となる） ※日頃自分が行っていない業務内容についての研修は積極的に受講し、知識の整理に取り組む
研究	研究の計画・準備・実施状況を確認する。		○計画がない場合、研究指導を受けられる産業看護部会研究ヘルプデスク等を活用する。
学会参加	学会参加ポイントを参加証等により確認する。		○日本産業衛生学会学会（総会）、全国協議会、各地方会学会、各部会主催の学術集会に計画的に参加する。
社会貢献	社会貢献ができているか確認する。		○社会貢献内容は、ホームページに掲載されている「“社会貢献”の考え方」で確認する。
	社会貢献内容が適正か確認する。		
会員資格	産業衛生学会の正会員資格を失効していないかを確認する。		○本制度登録後に会費未納や学生会員への会員種別変更等により日本産業衛生学会の正会員資格を失効した場合は、本制度登録削除となる。